

強者の戦略

【「近代化」ってよく出てきます】

センター試験まで10日あまり、いよいよ緊張感で研伸館の各校舎もぴりぴりしています。受験生には無事にセンター試験を乗り切ってほしいですね。こんにちは、冬期講習で声がかがらなくなってしまった北林です。皆さんはちゃんと加湿して喉を痛めたりしないでくださいね。

センター試験が終わったら二次対策になります。スパルタンもうまく使ってくださいね。

スパルタンのホームページ(東大も京大も医学部もこちらからです)

→ <http://spartan.kenshinkan.net>

さて課題となっている問題を確認しましょう。京都大学の問題でした。

問題

19世紀になると、アジア諸地域では、ヨーロッパ列強の進出に対する抵抗運動が展開された。また同時に、近代化をはかって自らを変革する試みも見られた。19世紀半ばのオスマン帝国期から第一次世界大戦後のトルコ共和国に至るトルコの近代化の動きについて、政体の変化を中心に300字以内で述べよ。

(1999年 京都大学第1問)

京都大学らしく、ストレートな問いですが、時系列に知っていることをただ書けばいいものではありませんから、構成メモをつくる際には要注意です

《ワンポイントアドバイス》

では確認しましょう。

いつ：「19世紀半ばのオスマン帝国期から第一次世界大戦後のトルコ共和国に至る」時期

主問：「トルコの近代化の動き」について

そして「政体の変化」を中心に。

○まず時期を確認しておきます。

19世紀半ば、ということですから、タンジマート(恩恵改革)をやっている時期ですね。タンジマートは1839年から始まります。当時の君主はアブデュル＝メジド1世ですね。そして第一次大戦後のトルコ共和国ができるころですから、スルタンの制度がなくなった1922年～23年のトルコ革命までということになります。この時期の近代化の動きを見ていくことになります。

○近代化

で、近代化って何を書いたらいいのだろう、ということを考えますよね。今回の問題は「政体の変化を中心」とあるので、そこまで困らないとは思いますが、単に近代化、とだけあったらどうしようか悩んでしまいます。いろんな考え方がありますが単に「近代化」と出てきた場合に、まずは、主に「機械」と「議会」の導入を思い浮かべてみるとよいと思います。

強者の戦略

言い方を変えると、「工業化」と「民主化」、「産業革命」や「議会政治」とでもなるでしょうか。当時は西欧のほうが進んでいると考えられるので「西欧化」も近代化になるでしょう。まあ西欧は産業革命も議会政治も進んでいますから、同じことというのはわかると思います。

すべての問題に当てはまるわけではありますが、一つの考え方として参考にしてみてください。

○時系列にざっと追いかけてみましょう

オスマン帝国でタンジマートが行われている …①



1876年 ミドハト憲法がつくられる

…露土戦争を口実に停止



憲法復活を求める「統一と進歩委員会」ができる(これが青年トルコになる)



1908年 青年トルコ革命 …②



第一次大戦でドイツ側で参戦し敗北→ セーヴル条約を結ぶ

…ただし亡国的内容



これに反発し、ケマル=パシヤがアンカラに大国民会議を組織(アンカラ臨時政府)



スルタン制廃止、トルコ共和国へ…③

→ケマルは大統領になり、カリフ制廃止や文字革命などの近代化をはかる

ざっとこんな感じになりますね。そして「政体の変化」に注目します。丸数字のところです。

① スルタンの専制君主政 ②立憲君主政 ③共和政 と、変遷がわかります。

以上をヒントに文章を構成していってくださいね。

《解答例》

19世紀半ば、専制君主政のオスマン帝国では列強の侵略に対抗するため、タンジマートという“上からの近代化”が行われ、1876年にはミドハト憲法が制定されたが、露土戦争を口実に実施は見送られた。これを不満として1908年、青年トルコ革命が起こり立憲政を回復させたが、第一次大戦の敗北後、セーヴル条約によってトルコは国家存亡の危機に瀕した。これに対してケマル=パシヤはトルコ大国民会議を組織してアンカラに臨時政府を設け、1922年スルタン制を廃止して帝国を滅亡させ、翌年ローザンヌ条約を締結してトルコの主権を回復しトルコ共和国を樹立した。その後はカリフ制の廃止や文字革命でローマ字を採用するなど、トルコの近代化に努めた。(300字)